



# 上末っ子

令和3年5月31日

6月号

横浜市立上末吉小学校

～ 学び合い みとめ合い 一人ひとりが輝く上末っ子 ～

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamisueyoshi/>

## 「絆が深まり、一人ひとりが成長した三ツ池全校遠足」

副校長 小川 康介

紫陽花の花が色づき始め、どんな時でも季節がしっかりとめぐっていることを伝えてくれているようです。今年度も引き続き、副校長を務めさせていただきます小川康介と申します。新型コロナウイルスに関わるニュースが連日流れ、保護者の皆様も我慢の毎日を送っていることと思います。昨年度と同様、引き続き学校でも感染拡大防止の取組を行ってまいります。今年度も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、5月25日（火）は、三ツ池全校遠足でした。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった全校行事です。1、2年生の子どもたちにとっては、初めての全校遠足であり、3年生以上の子どもたちにとっては、2年ぶりの全校遠足であったため、本当に待ちに待った楽しいイベントでした。当日は天気心配されましたが、とてもよい天気になり、子どもたちの元気が雨雲を吹き飛ばしてくれたようでした。

この三ツ池全校遠足には、大きな2つのねらいがあります。1つは、たてわり（フレンズ）グループで協力して活動することにより、相手意識や思いやりの心を育て、社会性を育むことです。2つ目は、各グループで決めためあてを守りながら、活動しようとする自主的、実践的な態度を育むことです。各グループは、1年生から6年生までの各学年の子どもたちから構成されます。6年生がリーダーとなり、グループ全体をまとめます。全校遠足をむかえるにあたって、5月20日（木）のフレンズ交流会では、当日の活動がスムーズにいくように、6年生が中心となり各グループで当日の約束やきまりを確認し合いました。（グループのめあて・持ち物や約束、グループの遊び、並ぶ順番や道路の歩き方など）

6年生を中心とした高学年は、往復の行程の中で、低学年が疲れている様子に気付くと、「がんばろう」と声をかけたり、リュックを持ってあげたりしながら、サポートしていました。相手に合わせた声のかけ方や接し方を考えながら行動していた高学年の子たち。普段の何倍も頼もしい子どもたちに出会えました。

「お兄ちゃん、お姉ちゃん、かっこいい！やさしい！・・・」と低学年が高学年に憧憬をもつこと。「頼もしく思われたい、いいところをみせたい・・・」と、高学年が少し背伸びをすること。異年齢で行うたてわり（フレンズ）活動は、近い将来のなりたい自分を見つける場であり、よりよい自分を実践する場でもあります。どう生きていくのか、どんな仕事をするのか、どんな自分になっていくのかといった「キャリア教育」の本質が、この活動にはあると思っています。全校の絆が深まり、一人ひとりが成長した三ツ池全校遠足になりました。

## 「KS70♡」ニュース

「上末っ子5月号」の中で、ご紹介いたしました「KS70♡プロジェクトチーム」を中心に、上末吉小学校70周年記念行事（KS70♡）の取組が本格的にスタートいたしました。周年行事に向けて、自分たちの学校に愛着をもち、心を込めてお祝いしようとする姿勢を育むことをねらいに、全校児童からマスコットの募集を行いました。我々教職員の予想を大幅に超える、約200件の応募があり、投票の結果、5年3組横山莉子さんが考えたキャラクターが選ばれました。みんなに愛されるマスコットキャラクターになること間違いなしです！

